



長生支部だより 第6号

発行所 千葉県立長生高等学校同窓会長生支部

発行人 会長 渡邊公雄

長生高校同窓会長生支部会長就任にあたって思うこと

会長 渡邊公雄

この度、中村前会長に指名され総会でご承認されました渡邊公雄でございます。

中村会長の後任としては力不足ではありますが、父・私・子供³人が長生高校もOBであり、また、長月会会長も経験しており、母校を愛する気持ちには、中村前会長にも負けなかつたが、具体的に何をしたらよいかよくわかりません。今やっていることはわかるのですが、何をすべきかがよくわかりません。そこで、「長生支部だより」や「長高同窓会会報」を読み返してみました。「長生支部だより」第3号で陸沢の副会長でした塚本さんが「長生支部設立趣意書に『長生高校の卒業生は様々な事柄・課題に対し寄与できる能力・資質を有する人材を多く輩出しています。そこで、これらの地域の同窓生が結集し、相互に親睦を図るとともに、組織的な活動を目指し、母校の一層の発展のために支援・協力し、併せて、微力ながら居住する地域への貢献に努めることが求められると考えています。』とある。」とおっしゃっています。

すなわち、以下の四項目にわけられると考えられ、これに沿って活動していきたいと思えます。

- 一 地域の同窓生が結集し、相互の親睦を図る。
- 二 地域の同窓生が結集し、組織的な活動をめざす。
- 三 母校の一層の発展のため支援・協力する。
- 四 居住する地域への貢献に努める。

まず、一つ目の会員相互の親睦についてですが、役員相互の親睦は役員会や親睦会を行ってそれなりに図れています。会員同士の親睦は総会しか機会がありません。また、地域間相互の親睦も十分ではないと思えます。2番目の組織的な活動ですが、これは、組織の強化を図ることだと考えます。組織の強化を図るには数の拡大が必要です。同窓会活動に協力してくれる人を増やす必要がありそうです。どうするかは皆さんと考えていきたいと思えます。3番目の支援活動は、学校・同窓会本部の活動に協力するとともに、長生支部独自の支援も、数の拡大や会費の徴収を図る事で強化して行きたいと考えています。最後の居住する地域への貢献についてですが、長生郡市を一体と考える必要があると思えます。一案ですが、茂原梨葉会との共同活動を志向していきたいとおもいます。

ます。いずれにいたしましても、皆様のご支援・ご協力を頂いて活動していきたいと思えますので宜しくお願い致します。
(昭和45年卒・長南町)

令和元年度総会報告

昨年11月9日、白子町のニューカネイを会場にして、令和元年度総会を開催しました。来賓を含め45名の方が出席しました。総会後には、昭和49年の卒業生で外交官として活躍された鶴岡千晴氏を講師に迎え「外交官としての人生を振り返って」と題して講演していただきました。なかなか表には出ない外交の舞台裏を垣間見させていただきました。改めて長高の卒業生が各方面で活躍されていると実感しました。その後の懇親会では、昭和43年卒業生グループによるバンド演奏があり大変盛り上がりました。とても古希とは思えない元若者？バンドグループでした。今年もこうした楽しい総会を予定していたのですが、残念ながらコロナウイルスの感染という状況では断念せざるを得ませんでした。来年はまた、楽しい総会が出来るよう一日も早い感染終息を願うところです。

